

時間割表の見方(各学期共通)

※ 「コース」欄について、「心／人」は心理学及び人間科学コース、「フィ／歴」はフィールド文化学及び歴史文化学コース、「言」は言語文化学コース を示す。
 なお、「学域共通科目」及び「人文学序説」・「学類共通英語」については、コースの記載欄はかかわらない。

※ 「単位」欄について、単位が分数表記されている科目は通年で履修する科目で、「半期／通年」の単位数を表記してある。半期だけの履修はできない。(履修単位数は各学期に按分される。)

(注意)

1. 各自対象のシラバス及びハンドブックを確認し、履修計画を立てること。特に、カリキュラムにない授業科目の単位を修得しても卒業単位にはならないので十分注意すること。

2. 時間割番号には5桁のものと、小数点以下桁番号のある8桁のものがあるが、いずれも再修得不可。それぞれの番号を正しく登録すること。

3. 教室欄は基本的に人間社会第1講義棟及び人間社会1号館の教室を示す。「研1」は教員研究室、「共同研1」は共同研究室、「実1」は各コースの実験室又は実習室、「人2」は人間社会第2講義棟、「人3」は人間社会3号館、「人5」は人間社会5号館、「総1」は総合教育講義棟、「メ1」は総合メディア基盤センターを示す。

4. 開講予定は変更となる場合があるので、必ず最新の時間割表(金沢大学人間社会系事務部学生課「履修登録日程・時間割」のページ□https://jinsha-gakusei.w3.kanazawa-u.ac.jp/cm/timetable/)を確認すること。

■開放科目について

「★」の付いた科目は開放科目で、共通教育科目としても履修することができる。

抽選対象科目となるため、履修登録し、抽選結果を確認すること。

履修登録は、専門教育科目か共通教育科目かいずれかを選んで行うこと。共通教育科目の時間割番号は、共通教育科目の履修案内に記載のとおり。

専門科目又は共通教育科目のいずれかで修得した場合、もう一方の科目として再履修することはできないので注意すること。

■集中講義について

実施時期等、変更することがある。今後の変更については、金沢大学人間社会系事務部学生課「履修登録日程・時間割」のホームページ

(https://jinsha-gakusei.w3.kanazawa-u.ac.jp/cm/timetable/)「2019年度前期 人間社会学域 集中講義一覧」を随時更新するので、確認すること。

日程の重なっている授業は、重複して履修できない。日程が重ならないよう注意して履修すること。

履修訂正期間後は、登録の取消等、変更はできないので注意すること。

9月卒業予定者は、卒業判定の日程上、8月9日(金)以降開講の集中講義は履修できない。

コース	授 業 科 目	時間割番号	担当教員	単位	学年	開 講 日 程
人	社会理論	41110	轟・小林	2	4	8/26～8/29
	地理学概論A	11010	大西 宏治	2	4	8/29～9/1
	人文地理学特殊講義B	41208	今里 悟之	2	4	8/20～8/22
フイ ／ 歴	文化遺産学実習A(十木5)	41446	菅原・河合・谷川	1/2	4	未定
	比較文化学実習A(十金5)	41442	森・矢口	1/2	4	未定
	博物館展示論	41459	中村 誠一	2	4	9/24～9/27
	日本近世近代史特殊講義A	41511	後藤 敦史	2	4	8月26日～29日
	日本近世近代史特殊講義B	41512	後藤 敦史	2	4	8月26日～29日
言	イギリス文学特殊講義A	42101	和泉 邦子	2	4	8月27日～30日
	ドイツ語認知言語論講義A	42309	黒田 廉	2	4	8月19日・8月20日・12月25日・12月26日
	フランス文学史A	11048	中島 淑恵	2	4	9月25～28日

■2019度前期「インターンシップ」について

インターンシップの単位認定を希望する場合は、掲示に留意し、確実に手続きを行うこと。インターンシップ参加前に必要な手続きがあるので注意すること。

科目	時間割番号	教員	単位	学年	備考
インターンシップ	31004.001	古市 大輔	2	4	希望者は履修登録の上、掲示に留意して、説明会、事前・事後指導等に参加のこと。

■「異文化体験実習I、II」について

2019年度前期の異文化体験実習は、以下①、②が開講される。いずれも人間社会学域の2年生以上の学生のみ履修可能(他学域不可)。

※注意※ ・履修登録の詳細は、Webシラバス又は説明会で確認すること。

・受講希望者は、シラバスや掲示で通知されるガイダンス等に必ず出席すること。

・担当教員の指示に従って、事前指導等を受ける必要がある。

・説明会の詳細は、Webシラバス又は掲示を確認すること。

①学生が一定期間、海外で行った短期の語学研修の成果を単位として認定するもの。(異文化体験実習Ⅰ、Ⅱ(海外))

科目	教員	学年	備考
異文化体験実習Ⅰ、Ⅱ(海外)	古市、志村、堀田	4	説明会に参加すること。説明会の詳細は別途掲示。

②海外の大学で開催されるサマー・コースなどに参加し、各自で企画するプロジェクトを外国語圏で行うことに対し、単位を認定するもの。

科目	教員	学年	研修先	備考
異文化体験実習Ⅰ、Ⅱ(フランス)	佐藤 朋子	4	フランス(オルレアン大学)	説明会:4月8日(月)5限、4月11日(木)5限 人社第1講義棟301講義室 期間:2019年8月30日～9月24日
異文化体験実習Ⅰ、Ⅱ(ドイツ)	佐藤 文彦	4	ドイツ(レーゲンスブルク大学等)	説明会:4月10日(水)5限、4月12日(金)5限 人社第1講義棟206講義室(予定) 期間:2019年8月23日～9月20日
異文化体験実習Ⅰ、Ⅱ(中国)	加納 希美	4	中国(北京語言大学又は台湾師範大学)	説明会:4月9日(火)お昼休み 総合教育棟D9講義室 期間:2019年 月 日～ 月 日 期間(予定):(北京語言大学)2019年8月1日～8月28日、(台湾師範大学)2019年8月5日～8月23日

■「学類共通英語1・2」について

「学類共通英語1・2」の履修については、科目名に括弧書きで分野が指定されているもの以外は、曜日・時限、教員は問わない。